



## 平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 シークス株式会社

コード番号 7613 URL <http://www.siix.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桔梗 芳人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大野 精二

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日

TEL 06-6266-6415

平成26年9月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	98,141	△0.4	2,336	5.9	2,405	5.2	1,737	27.0
25年12月期第2四半期	98,523	8.4	2,205	△14.9	2,287	△14.5	1,368	△27.6

(注)包括利益 26年12月期第2四半期 551百万円 (△88.3%) 25年12月期第2四半期 4,699百万円 (99.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	73.63	—
25年12月期第2四半期	58.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年12月期第2四半期	88,954		33,282		37.2
25年12月期	89,204		33,185		37.0

(参考)自己資本 26年12月期第2四半期 33,113百万円 25年12月期 32,985百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	16.00	—	16.00	32.00
26年12月期	—	16.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	18.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	8.7	6,000	19.7	5,900	8.7	4,100	23.4	173.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	25,200,000 株	25年12月期	25,200,000 株
26年12月期2Q	1,600,431 株	25年12月期	1,600,431 株
26年12月期2Q	23,599,569 株	25年12月期2Q	23,599,569 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、米国では、消費が堅調に推移し、雇用環境の改善が見られる等、景気は引続き緩やかに回復し、ユーロ圏でも、緩やかな回復傾向が持続しました。一方アジアでは、中国で景気回復に向け、政府の景気下支え策が一定の効果を上げましたが、新興国では、通貨安や内需の不振から景気は低調に推移しました。日本では、4月以降、消費税率引上げにともなう駆け込み需要の反動があったものの、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような状況下、当社の当第2四半期連結累計期間の売上高は981億4千1百万円となり、前年同期に比べて3億8千1百万円の減少(0.4%減)となりました。一方利益面では、営業利益は23億3千6百万円と前年同期に比べて1億3千万円の増加(5.9%増)となり、経常利益は24億5百万円と前年同期に比べて1億1千8百万円の増加(5.2%増)となりました。四半期純利益は17億3千7百万円となり、前年同期に比べて3億6千9百万円の増加(27.0%増)となりました。

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。なお、本文中の「セグメント利益」および「セグメント損失」は、四半期連結損益計算書の営業利益を基礎としております。

#### ①電子(日本)

車載関連機器用部材等の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は311億6千万円と前年同期に比べて33億2千3百万円の増加(11.9%増)となりました。セグメント利益は9億9千3百万円と前年同期に比べて6千6百万円の増加(7.2%増)となりました。

#### ②電子(アジア)

車載関連機器用部材の出荷が増加しましたが、デジタル家電機器の出荷減少が大きく影響したため、当セグメントの売上高は719億1千1百万円と前年同期に比べて17億7千万円の減少(2.4%減)となりました。セグメント利益は18億3千7百万円と前年同期に比べて1億7千2百万円の減少(8.6%減)となりました。

#### ③電子(欧州)

車載関連機器用部材の出荷は堅調に推移しましたが、家電関連機器の出荷が減少したため、当セグメントの売上高は39億4千1百万円と前年同期に比べて2億6千2百万円の減少(6.2%減)となりました。一方利益面については、製造子会社の業績改善等により2千9百万円のセグメント利益(前年同期は1億2千4百万円のセグメント損失)となりました。

#### ④電子(米州)

車載関連機器用部材の出荷が大幅に増加した結果、当セグメントの売上高は98億6千9百万円と前年同期に比べて41億6千4百万円の増加(73.0%増)となりました。セグメント利益は2億5千万円と前年同期に比べて1億2千1百万円の増加(93.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ2億5千万円減少し、889億5千4百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

負債につきましては、負債合計が前連結会計年度末に比べ3億4千7百万円減少し、556億7千2百万円となりました。これは主に、買掛金、短期借入金の減少によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ9千7百万円増加し、332億8千2百万円となりました。

この結果、自己資本比率は37.0%から37.2%に増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果、増加した現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は14億7千7百万円となりました。これは主に、売上債権の増加額16億5千4百万円、たな卸資産の増加額9億8千2百万円の資金減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益が24億5百万円となったことと、仕入債務の増加額15億2千6百万円および減価償却費15億1千4百万円の資金増加要因によるものです。

投資活動の結果、減少した資金は12億8千6百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8億8千万円および関係会社株式の取得による支出2億5千9百万円によるものです。

財務活動の結果、減少した資金は2億9千9百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入18億1千5百万円に対し、短期借入金の純減少額8億6千7百万円、長期借入金の返済による支出8億2百万円および配当金の支払額3億7千7百万円によるものです。

これらの結果、当第2四半期末における連結ベースの資金は71億5千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ、3億6千1百万円の減少（4.8%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成26年2月14日に公表しております平成26年12月期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,603	7,178
受取手形及び売掛金	39,518	39,270
商品及び製品	14,450	14,654
仕掛品	752	654
原材料及び貯蔵品	3,387	3,538
その他	2,056	2,420
貸倒引当金	△475	△476
流動資産合計	67,293	67,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,531	6,052
機械装置及び運搬具(純額)	5,914	5,860
土地	2,322	2,451
その他(純額)	639	763
有形固定資産合計	14,409	15,127
無形固定資産		
	516	476
投資その他の資産		
投資有価証券	3,449	2,854
出資金	927	899
その他	3,056	2,798
貸倒引当金	△448	△440
投資その他の資産合計	6,985	6,111
固定資産合計	21,911	21,715
資産合計	89,204	88,954

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,829	29,602
短期借入金	12,564	12,192
未払法人税等	691	721
その他	4,323	4,255
流動負債合計	47,409	46,771
固定負債		
長期借入金	5,675	5,952
退職給付引当金	141	160
その他	2,792	2,787
固定負債合計	8,610	8,900
負債合計	56,019	55,672
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	1,853	1,853
利益剰余金	26,398	27,622
自己株式	△677	△677
株主資本合計	29,717	30,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	474	678
繰延ヘッジ損益	△5	2
為替換算調整勘定	2,799	1,490
その他の包括利益累計額合計	3,268	2,171
少数株主持分	199	169
純資産合計	33,185	33,282
負債純資産合計	89,204	88,954

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	98,523	98,141
売上原価	92,643	91,614
売上総利益	5,879	6,527
販売費及び一般管理費	3,673	4,191
営業利益	2,205	2,336
営業外収益		
受取利息	20	28
受取配当金	10	13
持分法による投資利益	—	63
不動産賃貸料	43	45
為替差益	10	—
物品売却収入	57	39
その他	143	124
営業外収益合計	284	313
営業外費用		
支払利息	104	102
持分法による投資損失	57	—
為替差損	—	87
物品購入費用	26	21
その他	15	32
営業外費用合計	203	244
経常利益	2,287	2,405
特別利益		
固定資産売却益	14	—
特別利益合計	14	—
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	2,298	2,405
法人税、住民税及び事業税	767	873
法人税等調整額	172	△185
法人税等合計	940	688
少数株主損益調整前四半期純利益	1,358	1,717
少数株主損失(△)	△10	△20
四半期純利益	1,368	1,737

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,358	1,717
その他の包括利益		
$\Delta$ 其他有価証券評価差額金	$\Delta$ 120	203
繰延ヘッジ損益	6	8
為替換算調整勘定	3,389	$\Delta$ 1,362
持分法適用会社に対する持分相当額	65	$\Delta$ 15
その他の包括利益合計	3,341	$\Delta$ 1,166
四半期包括利益	4,699	551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,683	582
少数株主に係る四半期包括利益	16	$\Delta$ 31

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,298	2,405
減価償却費	1,439	1,514
貸倒引当金の増減額(△は減少)	37	2
受取利息及び受取配当金	△30	△41
支払利息	104	102
為替差損益(△は益)	△30	52
持分法による投資損益(△は益)	57	△63
売上債権の増減額(△は増加)	2,823	△1,654
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,016	△982
未収消費税等の増減額(△は増加)	46	54
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,361	1,526
前受金の増減額(△は減少)	532	△632
その他	△484	△87
小計	2,417	2,197
利息及び配当金の受取額	91	91
利息の支払額	△107	△99
法人税等の支払額	△868	△711
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,534	1,477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△697	△880
有形固定資産の売却による収入	29	19
無形固定資産の取得による支出	△38	△91
貸付けによる支出	△211	△143
貸付金の回収による収入	11	8
関係会社株式の取得による支出	△1,096	△259
その他	—	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,002	△1,286
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,330	△867
長期借入れによる収入	1,583	1,815
長期借入金の返済による支出	△633	△802
配当金の支払額	△378	△377
その他	△42	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△800	△299
現金及び現金同等物に係る換算差額	742	△279
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△526	△387
現金及び現金同等物の期首残高	6,263	7,518
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	26
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,737	7,156

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子 (日本)	電子 (アジア)	電子 (欧州)	電子 (米州)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,747	68,121	3,705	2,854	91,428	7,082	98,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,089	5,560	497	2,850	19,998	69	20,068
計	27,836	73,681	4,203	5,705	111,426	7,152	118,579
セグメント利益 又は損失(△)	926	2,010	△124	129	2,941	18	2,960

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品および商品はワイヤーハーネス部材、オートバイ用部材、設備機械および印刷インキ等であります。

2 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	111,426
「その他」の区分の売上高	7,152
セグメント間取引消去等	△20,056
四半期連結損益計算書の売上高	98,523

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,941
「その他」の区分の利益	18
セグメント間取引消去	34
全社費用等(注)	△789
四半期連結損益計算書の営業利益	2,205

(注) 全社費用等の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の総務部、経理部等管理部門および国内子会社にかかる費用であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子 (日本)	電子 (アジア)	電子 (欧州)	電子 (米州)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,357	63,817	3,475	5,765	92,415	5,721	98,137
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,802	8,093	466	4,104	24,466	671	25,138
計	31,160	71,911	3,941	9,869	116,882	6,393	123,275
セグメント利益 又は損失(△)	993	1,837	29	250	3,111	21	3,132

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品および商品はワイヤーハーネス部材、オートバイ用部材、設備機械および印刷インキ等であります。

## 2 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	116,882
「その他」の区分の売上高	6,393
セグメント間取引消去等	△25,134
四半期連結損益計算書の売上高	98,141

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,111
「その他」の区分の利益	21
セグメント間取引消去	△20
全社費用等(注)	△776
四半期連結損益計算書の営業利益	2,336

(注) 全社費用等の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の総務部、経理部等管理部門および国内子会社にかかる費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。